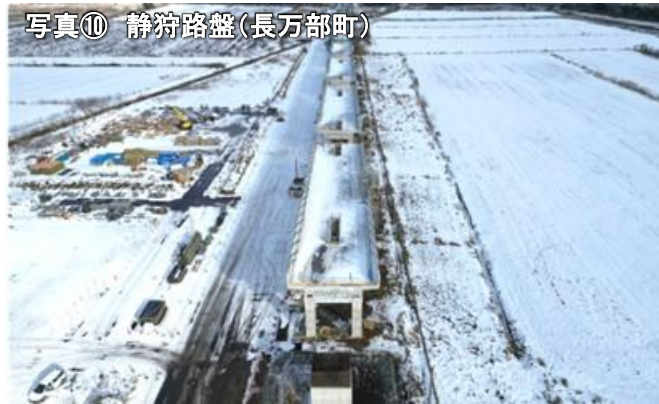


写真⑨ 宮田高架橋(宮田工区)(二七三町)



写真⑩ 静狩路盤(長万部町)



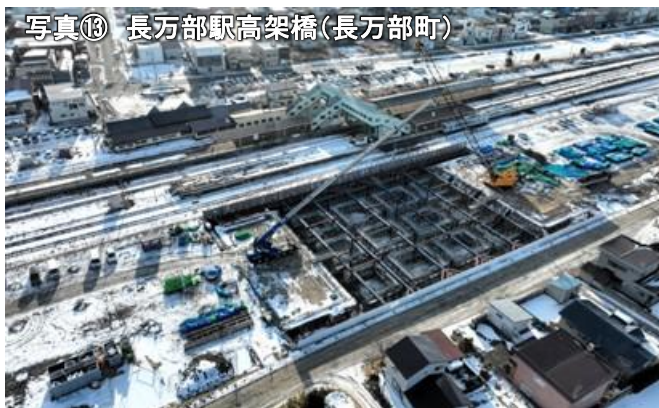
写真⑪ 栄原高架橋(長万部町)



写真⑫ 平里高架橋(長万部町)



写真⑬ 長万部駅高架橋(長万部町)



写真⑭ 新八雲(仮称)駅高架橋(八雲町)



写真⑮ 大新高架橋(八雲町)



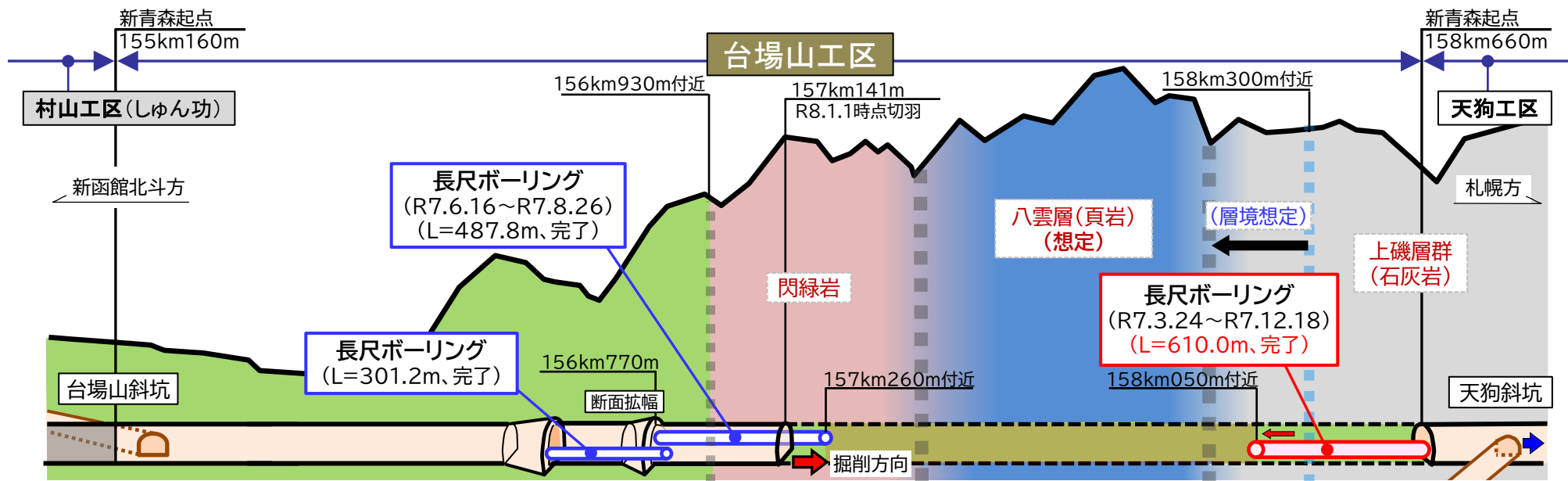
写真⑯ 市渡高架橋(北斗市)



撮影位置図



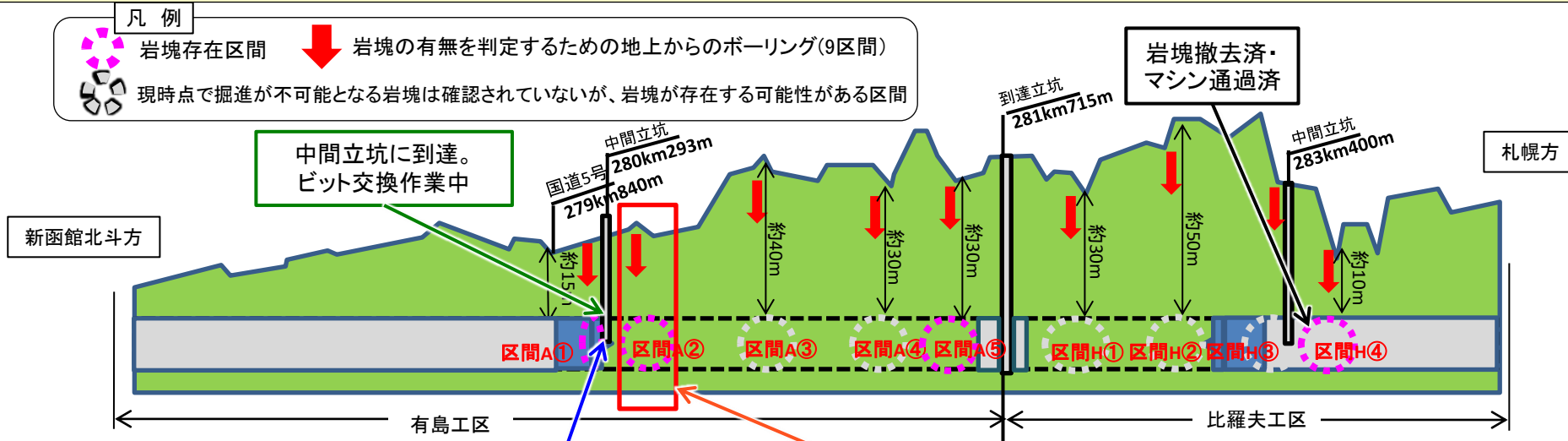
- 地質不良が続いている渡島トンネルの台場山工区において、未掘削区間の地質状況を早期に把握し、今後の掘削見通しの検討に資するため、隣接する天狗工区側から台場山工区に向けて長尺ボーリング調査(L=約610m)を実施。
- 158km300m付近から八雲層(頁岩)の出現を想定していたものの、上磯層群(石灰岩)が継続して出現。現在、ボーリングコアの分析中。



天狗工区から新函館北斗方への長尺ボーリング実施状況

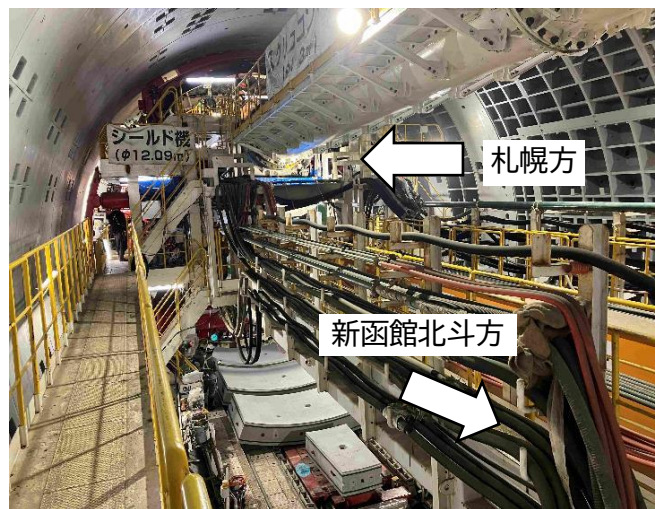
# 岩塊撤去の進捗状況(羊蹄トンネル)

- 令和4年度に実施した弾性波探査の結果、9箇所で掘進に影響する可能性のある岩塊の存在を確認。(図中の区間A①～H④)
- 区間A①では、掘進停止の原因となった岩塊を撤去し、シールドマシンが令和7年7月1日に中間立坑に到達。ビット交換作業中。
- 令和4～5年度の地上からのボーリング調査の結果、区間A②、A⑤、H④において、シールドマシンによる掘進が停止するおそれがある岩塊の存在を確認。このうち、区間A②の岩塊は、令和6年5月より地上から撤去中(令和7年6月より撤去範囲を拡大しており、令和7年12月31日時点で229本の撤去完了)。到達立坑において比羅夫工区のシールドマシン到達に備えた準備を今後着手するため、区間A⑤の岩塊撤去を一旦終了。
- 残りの区間では、地上からのボーリング調査の結果では、シールドマシンによる掘進が不可能となる岩塊は未確認。

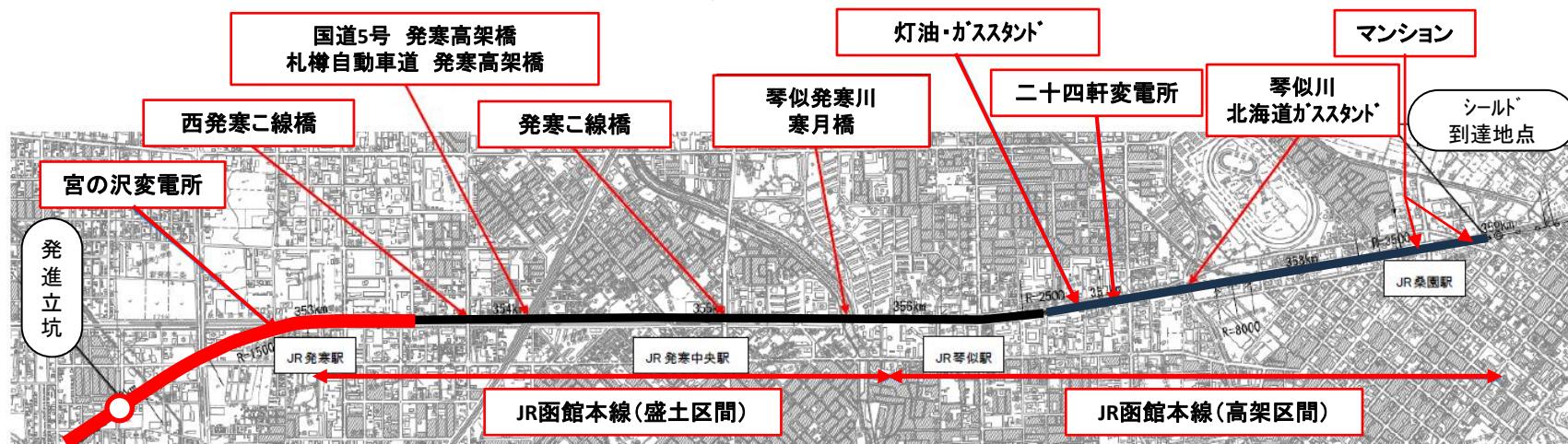


# シールドトンネルの進捗状況(札幌トンネル(札幌))

- 令和6年3月より札幌方の掘進を実施。令和7年12月1日時点で約1,550mを掘進完了。
- 今後も、JR函館本線をはじめとした重要構造物に近接しながら掘進を予定。



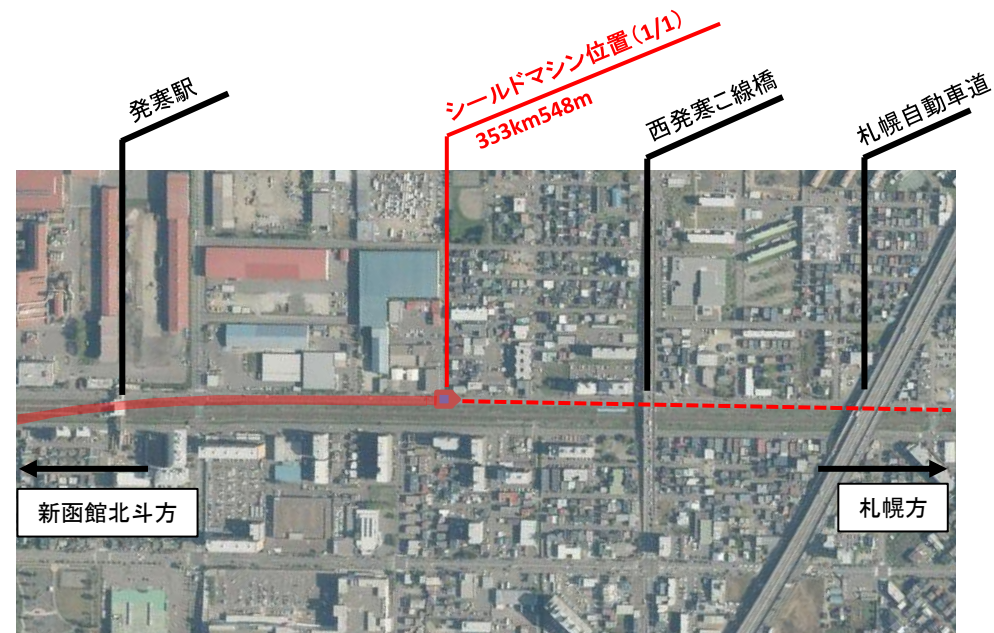
札幌方掘進の様子



- 現在、掘進を停止し、交換式先行ビットを引抜き点検中。
- 点検結果の摩耗量に応じて、交換式先行ビットの交換も実施中。



シールドマシンの前面写真



国土地理院の航空写真測量を加工して作成

シールドマシンの停止位置